

一般質問

Q 再生可能エネルギーの構想は持っているか



工藤 雄 壽

一、北海道電力は本夏の電力需要について、一昨年と比し、7%程度の節電協力をお願いすると公表したところであるが、町として公共施設や町民への協力要請など、どのような節電対策を考えているか。

二、福島原発事故以来、再生可能エネルギーが大きく注目されている。かつて本町においても関係機関と連携して風力発電施設を建設する構想もあったが、今また昨今の情勢を踏まえ、町独自の再生可能エネルギーの調査研究・建設計画等の構想を持っているか伺う。

A オロロンライン11市町村と連携して取り組む

副町長 板垣 良二

一、管内においても各市町村長・経済団体等が集まり、「留萌地域電力需要連絡会議」が開催され、その中でそれぞれの市町村において節電計画を策定し、全面的な協力を行うことで合意している。具体的には、各公共施設における照明・空調・OA機器の外、トイレのエアータオル等の細部にわたる節電に積極的に取り組むこととし、来庁者・利用者の理解が得られるような形で進めたい。町民へは広報を通じて協力を要請するとともに、北電が各戸を訪問し、節電への協力をお願いすることになっている。

町長 関 次 雄

二、再生可能エネルギーの普及拡大の動きが加速している中、オロロンライン地域11市町村で構成する自然エネルギーを活用した地域活性化に関する研究会が設置され、自然エネルギーを最大限に活用した地域活性化への検討を進めてきたところである。当地域は風力発電においては最適な風況を有しているが、送電網が脆弱であり、系統連携に制限があることから、国による送電線整備の風力発電重点地区の指定と早期の整備に向けた来年度予算の要望書を提出したところである。町独自の計画は考えていないが、当地域で連携した取り組みを継続していく。

議会の動き

■ 6月

- 1日 議会運営委員会(委員長外2委員及び議長) 議員全員協議会(6議員)
- 5日~6日 北海道町村議会議長会定期総会、議長・事務局長研修会(議長)、留萌管内町村議会議長会第1回臨時総会(議長)
- 7日 第2回定例会開会(8議員)
- 10日 第2師団創立62周年、旭川駐屯地開設60周年記念行事(議長)
- 14日 第2回定例会再開(8議員)、議員全員協議会(8議員)
- 16日 野焼きのつどい(議長)、鬼鹿藤まつり(議長)
- 17日 留萌駐屯地創立59周年記念行事(議長)
- 18日~19日 留萌地域総合開発期成会臨時総会及び地元・札幌要望(議長)
- 20日 総務産業常任委員会所管事務調査(8委員)
- 24日 小平消防団総合訓練大会(議長外各議員)
- 25日~28日 留萌地域総合開発期成会中央要望(議長) 留萌南部衛生組合行政視察(伊勢市 議長)

■ 7月

- 2日 伊達市議会市民クラブ小平町行政視察(議長)
- 3日 北海道町村議会議員研修会(6議員)
- 7日 鬼鹿ツインピーチ海開き(議長外各議員)
- 12日 議員全員協議会(8議員) 議会広報発行特別委員会(5委員)
- 20日 国際平和活動協力要員壮行会(議長)
- 21日 おびらしべ湖森と湖に親しむつどい(議長)
- 23日 議会広報発行特別委員会(5委員)
- 24日 大空町議会総務文教厚生常任委員会小平町行政視察(議長)

研修会レポート (北海道町村議会議員研修会)

去る7月3日、札幌市コンベンションセンターで開催された北海道町村議会議員研修会に参加してまいりました。



はじめに、「議会改革の展望と課題」と題し、議会改革のポイントや新しい町村議会の使命について明治大学政治経済学部の牛山久仁彦教授から講演いただきました。

また、当日はメディアでもお馴染みの慶應義塾大学教授で外交ジャーナリストの手嶋龍一氏を招き、「世界の中の日本・アジアの中の日本~日本の外交戦略を探る」と題して、講演をいただきました。

講演では、21世紀の流通革命と評する北極海航路上に北海道が位置していることや中国との取引における日本海沿岸の戦略的価値が高まっていることなど、北海道に大きな可能性があることに触れ、参加した議員は真剣に耳を傾けておりました。